

## ▼ペマジール錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】 ペミガチニブ Pemigatinib 【分類】 抗悪性腫瘍剤 [FGFR 阻害剤]

【単位】 ▼4.5mg/錠

【常用量】 1 サイクル：1 日 1 回 13.5mg を 14 日間投与後、7 日間休薬

適宜 1 段階ずつ減量

【用法】 1 日 1 回

【透析患者への投与方法】 PK からは常用量を HD 後 (1) HD 患者には常用量 (Ji T, et al: Br J Clin Pharmacol 2022 PMID: 34169560)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 eGFR<30：減量考慮。血中濃度上昇のおそれあり (1) 高度腎障害時に AUC1.6 倍 [最大 2.6 倍] (Ji T, et al: Br J Clin Pharmacol 2022 PMID: 34169560)

【特徴】 線維芽細胞増殖因子受容体 (FGFR) のチロシンキナーゼ活性を阻害。

【主な副作用・毒性】 高リン血症、網膜剥離、眼の異常、消化器症状、疲労、体重減少、味覚異常、皮膚症状など多数

【安全性に関する情報】 心伝導障害の原因にならない (Gong X, et al: Pharmacol Res Perspect 2022 PMID: 34951522)

【F】 はほぼ完全に吸収される (1) ラット 100%，サル 29% (1) 初回通過効果は低いと推定 (1)

【tmax】 1~2hr (1)

【代謝】 主に CYP3A4 で代謝 (1)

【排泄】 尿中未変化体排泄率 1% [po, 144hr まで] (1) P-gp, BCRP の基質 (1)

【CL/F】 女性で 10.3L/hr (Ji T, et al: Clin Pharmacol Drug Dev 2022 PMID: 35092702)

【t1/2】 13hr (1)

【蛋白結合率】 88.8% [Alb] (1)

【Vd/F】 Vd/F=122.0L, Vt=80.1L/body [73.3kg] (Ji T, et al: Clin Pharmacol Drug Dev 2022 PMID: 35092702)

【MW】 487.5

【透析性】 除去率 6% (1)

【O/W 係数】

【相互作用】 CYP3A4 の強い阻害剤・誘導剤との相互作用に注意 (1) PPI, H2B との相互作用を認めず (Ji T, et al: Eur J Clin Pharmacol 2021 PMID: 34282472)

リン吸着薬併用により CL/F が低下するが影響は軽度 (Gong X, et al: Pharmacol Res Perspect 2022 PMID: 34951522) P-gp, OCT2/MATE1 基質との相互作用を認めず (Ji T, et al: CPT Pharmacometrics Syst Pharmacol 2022 PMID: 35506332)

【肝障害患者への投与方法】

【小児 CKD 患者における報告】

【妊婦・授乳婦への投薬】

【主な臨床報告】

【更新日】 20220818

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。